



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月30日

上場会社名 A G S株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3648 URL <https://www.ags.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 真治  
問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 谷中 達也 TEL 048-825-6079  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,088	5.2	138	△44.9	185	△31.5	122	△32.4
2024年3月期第1四半期	4,838	△5.0	251	68.0	270	54.4	180	60.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 153百万円 (△49.3%) 2024年3月期第1四半期 301百万円 (640.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	7.20	—
2024年3月期第1四半期	10.27	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	19,777	13,835	70.0
2024年3月期	20,820	13,852	66.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 13,835百万円 2024年3月期 13,852百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	6.50	—	8.00	14.50
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	10,800	2.2	550	△19.5	570	△19.1	390	△16.7	22.97
通期	23,500	6.4	1,350	6.1	1,370	6.5	930	△0.7	54.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	17,588,132株	2024年3月期	17,588,132株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	643,890株	2024年3月期	605,990株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	16,957,062株	2024年3月期1Q	17,591,243株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなど各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調となりました。景気の先行きについては、物価上昇を上回る賃金上昇の実現や、官民連携投資による社会課題解決と生産性向上が期待されるものの、中国経済の先行き懸念等に伴う海外景気の下振れ、中東地域をめぐる情勢などにより、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属します情報サービス産業におきましては、地方公共団体の基幹業務システム標準化推進や、老朽化が懸念される民間企業の基幹システム刷新、及び官民を問わず、生成AIの活用をはじめとしたデジタルトランスフォーメーション(DX)推進の更なる加速が期待されております。また、組織を標的としたサイバー攻撃による被害が増加し、自社の防衛策のみならず関係する外部組織も含めたセキュリティ対策の重要性が高まっており、今後も中長期的に市場規模の拡大が継続するものとみられます。

このような経営環境の下、当社グループの第一期中期経営計画の最終年度となる当連結会計年度におきましては、ソフトウェア開発をはじめとする大型案件の確実な遂行、「さいたまiDC」による情報処理サービスやインフラ・セキュリティビジネスの拡大、及びSDGs推進による社会課題の解決に向けたDXソリューションの販売強化等に注力してまいりました。

売上面では、システム機器販売が減少したものの、他のセグメントが堅調に推移したことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,088百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

利益面では、増収の効果はあったものの、人件費、外部委託費、機械費の増加などにより、営業利益は138百万円(前年同期比44.9%減)、経常利益は185百万円(同31.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は122百万円(同32.4%減)となりました。

セグメント別の経営成績に関しては以下のとおりであります。

#### (情報処理サービス)

金融機関向け運用業務の受注増加などにより、売上高は2,942百万円(前年同期比1.6%増)となりましたが、データセンターにかかる機械費、修繕費の増加などにより、セグメント利益は450百万円(同10.8%減)となりました。

#### (ソフトウェア開発)

金融機関、及び自治体向けの大型案件増加などにより、売上高は1,299百万円(前年同期比19.1%増)となりましたが、人件費、外部委託費の増加などにより、セグメント利益は94百万円(同19.9%減)となりました。

#### (その他情報サービス)

自治体向けパッケージソフト販売の増加、及び自治体情報システムの標準化・共通化対応案件の受注などにより、売上高は679百万円(前年同期比12.1%増)となりましたが、自治体向け機器・ソフトの保守にかかる費用の増加などにより、セグメント利益は80百万円(同14.2%減)となりました。

#### (システム機器販売)

一般法人向け機器販売の減少などにより、売上高は167百万円(前年同期比31.4%減)となりましたが、自治体向け機器販売の利益率の改善などにより、セグメント利益は6百万円(前年同期比57.4%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、受取手形、売掛金及び契約資産が前連結会計年度末比1,027百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比1,043百万円減少して19,777百万円となりました。

負債合計は、未払費用等のその他流動負債が前連結会計年度末比616百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比1,025百万円減少して5,942百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益122百万円の計上的一方、剰余金の配当135百万円などにより、前連結会計年度末比17百万円減少して13,835百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.4ポイント増加して70.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,586,114	6,469,128
受取手形、売掛金及び契約資産	3,364,351	2,337,201
商品	601,973	603,869
仕掛品	66,509	148,618
原材料及び貯蔵品	16,886	18,523
その他	582,378	724,581
流動資産合計	11,218,212	10,301,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,790,396	1,805,559
土地	1,572,515	1,572,515
リース資産(純額)	1,251,924	1,243,254
その他(純額)	734,490	688,427
有形固定資産合計	5,349,326	5,309,756
無形固定資産	1,517,797	1,447,421
投資その他の資産		
投資有価証券	2,102,971	2,147,509
その他	636,293	574,856
貸倒引当金	△4,002	△4,000
投資その他の資産合計	2,735,263	2,718,365
固定資産合計	9,602,386	9,475,543
資産合計	20,820,599	19,777,465
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	938,761	532,046
リース債務	517,424	519,410
未払法人税等	438,175	27,869
賞与引当金	—	439,750
製品保証引当金	42,639	43,305
その他	2,975,616	2,359,135
流動負債合計	4,912,615	3,921,517
固定負債		
リース債務	1,533,235	1,484,437
退職給付に係る負債	123,779	111,881
長期未払金	261,921	257,170
その他	136,539	167,371
固定負債合計	2,055,475	2,020,861
負債合計	6,968,091	5,942,378

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,431,065	1,431,065
資本剰余金	506,065	506,065
利益剰余金	11,413,880	11,400,186
自己株式	△421,742	△456,317
株主資本合計	12,929,269	12,881,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	921,384	952,356
退職給付に係る調整累計額	1,854	1,729
その他の包括利益累計額合計	923,238	954,086
純資産合計	13,852,508	13,835,087
負債純資産合計	20,820,599	19,777,465

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,838,030	5,088,611
売上原価	3,642,536	3,917,432
売上総利益	1,195,494	1,171,178
販売費及び一般管理費	944,150	1,032,611
営業利益	251,343	138,566
営業外収益		
受取利息	19	144
受取配当金	31,159	53,993
その他	2,420	4,426
営業外収益合計	33,600	58,564
営業外費用		
支払利息	14,101	11,685
その他	58	3
営業外費用合計	14,160	11,688
経常利益	270,783	185,442
特別利益		
固定資産売却益	—	2,741
特別利益合計	—	2,741
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	270,783	188,183
法人税、住民税及び事業税	1,592	4,194
法人税等調整額	88,457	61,825
法人税等合計	90,050	66,019
四半期純利益	180,732	122,163
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	180,732	122,163
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	120,951	30,971
退職給付に係る調整額	△1	△124
その他の包括利益合計	120,949	30,847
四半期包括利益	301,681	153,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	301,681	153,011
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	情報処理 サービス	ソフトウェ ア開発	その他情報 サービス	システム 機器販売	計			
売上高								
外部顧客への 売上高	2,896,720	1,091,318	605,952	244,039	4,838,030	4,838,030	—	4,838,030
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,896,720	1,091,318	605,952	244,039	4,838,030	4,838,030	—	4,838,030
セグメント利益	504,951	118,043	93,624	4,198	720,817	720,817	△469,473	251,343

(注) 1. セグメント利益の調整額△469,473千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△469,473千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	情報処理 サービス	ソフトウェ ア開発	その他情報 サービス	システム 機器販売	計			
売上高								
外部顧客への 売上高	2,942,212	1,299,705	679,385	167,308	5,088,611	5,088,611	—	5,088,611
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,942,212	1,299,705	679,385	167,308	5,088,611	5,088,611	—	5,088,611
セグメント利益	450,246	94,510	80,349	6,609	631,715	631,715	△493,148	138,566

(注) 1. セグメント利益の調整額△493,148千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△493,148千円  
であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半  
期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	297,636千円	298,368千円